

伊方原子力発電所環境安全管理委員会 (R2. 7. 29) で  
取りまとめられた意見

1 令和元年度伊方原子力発電所周辺環境放射線等調査結果

空間放射線の測定結果は、伊方発電所からの放出と考えられる線量率の変化は認められない。

また、環境試料等の核種分析結果については、一部の環境試料から、セシウム-137 等が検出されたが、微量であり、人体への影響上問題となるような濃度は認められていない。

2 令和元年度伊方原子力発電所温排水影響調査結果

過去の調査結果と比較して同じ程度であり、特に問題となるものは認められない。

3 伊方発電所の通報連絡事象について

(伊方発電所で連続発生したトラブルに関する報告書について)

個々のトラブルについては、推定原因の如何にかかわらず、確実に再発を防止できる対策を講じることとしており、トラブルが連続した背景については、組織面や技術面など様々な視点から調査・検証を行った上で、安全文化の醸成に向けた総括的な再発防止策を積極的に講じることとしており適当と判断する。

また、再発防止策の確実かつ継続的な実施及び更なる伊方発電所の安全性向上につながる取組みとして取りまとめた、5項目の要望事項について、県から四国電力に要請することを求める。

〔 添付：伊方発電所3号機第15回定期検査中に連続発生した  
トラブルに関する報告書 〕